

# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2024\_v1.22

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	指定障がい者支援施設 ふるさと寮	階数	地上1F
建設地	兵庫県多可郡多可町	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	90人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2026年1月30日
敷地面積	6,880㎡	作成者	中田
建築面積	2,243㎡	確認日	2026年1月30日
延床面積	2,141㎡	確認者	中田



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	88%
③上記+②以外の	88%
④上記+	88%

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	2.2
温熱環境	2.6
光・視環境	3.3
空気質環境	3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.3
耐用性	2.9
対応性	3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性	2.5

**LR のスコア = 2.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システム効率化	2.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	3.0
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.4
地域環境	2.9
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
・建物内外において段差解消や手すりの設置等を行い、高齢者をはじめとする多様な利用者が安全に移動できるバリアフリー環境を確保した。	0
<b>Q1 室内環境</b> ・開口部の配置により自然採光を確保し、屋光利用による快適性向上と省エネを両立している。 ・建材は全てF☆☆☆☆相当品を使用し、化学物質による健康影響の低減に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・建物内のバリアフリー化に加え、個室の天井高を十分に確保することで、圧迫感の軽減や心理的快適性の向上を図り、利用者が安心して過ごせる環境づくりに配慮している。
<b>LR1 エネルギー</b> エネルギー消費低減に対して、一般的な建物と同程度の配慮をしている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 周辺の街並みとの調和を重視し、建物は機能上支障のない範囲で低層化を図ることで、景観への圧迫感を抑制している。さらに、敷地内に緑化を計画的に配置し、景観向上と環境負荷低減の両立に配慮している。
	<b>LR2 資源・マテリアル</b> リサイクル材を使用する事、部材の再利用可能性向上への取組み事により資源に配慮している。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 地球温暖化に対して、一般的な建物と同程度の配慮をしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。  
 ■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される